



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1111		
科目名	文章表現 1		
担当教員	山崎 真紀子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2進行情期～3発展期		
科目概要・キーワード	大学で学ぶにあたって必要とされる文章作成、レポートの書き方を基礎から学びます。まず、文章作成に必要な正しい言葉遣い、自らが表現したいことを的確に相手に伝えるための語彙を増やす学習を行います。 主語述語の的確な使用、句読点の効果的な打ち方、原稿用紙の正しい使い方、段落構成の立て方、ワープロソフトの使い方、書式設定、表紙の付け方など基本的事項を踏まえ、レポートを仕上げるまでに至る方法を修得します。 本授業は、講義および実習、演習の組み合わせによって行います。講義では、テキストや資料などから具体例を用いて文章表現の基本的事項および型を説明していきます。実践では各自が原稿用紙に向かい手書きで読みやすい字で正しく書き、基本的な事項を習得したら、パソコンを用いて提出に到るまでの作業を行います。 仕上げたものは口頭発表し、学生間での相互批評や教員による助言によって、書いたものを点検していき、自ラ作成したレポートが相手に正確に伝わっているか客観的に俯瞰します。この		

	振り返り作業を通して、文章作成や構成力をさらにランクアップしていきます。e-learning教材を用いて弱点をみつけ、基礎文章力を強化します。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためのオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：言語的コミュニケーション・オーラルコミュニケーション・文章読解・言葉選び・ライティング・						
授業の趣旨	■副題 市民生活や、大学生活を送るうえで必要な文章力、表現力、分析力を身につける。 ■授業の目的 大学生活を送るうえで、なおかつアスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な言語能力、探求力、対話力を修得し、市民生活を送るうえで必要な他者理解能力など必要な能力を身につける。 ■授業のポイント 大学生活に必要なレポートや論文の作成能力を養成します。文章作成の上で必要な正確な言葉選びに必要な語彙力を増やし、起承転結を基本とした段落構成を身に着けるための基礎的な学習から始めます。文章表現能力やプレゼンテーション能力を身につける。						
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本語の文法と文章の構造を正しく理解する。 ・正しい文法と表記方法で文章を書くことができる。(1～4回) ・論理的な文章の構造を理解し、筋の通った文章を書くことができる。(1～4回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本語・日本文化の理解を深め、さらに他者や異文化との交流を重視する態度を習得する。 ・日本語の語彙を増やし、適切な表現によってわかりやすい文章を書くことができる。(2～14回) ・他の学生と相互批評し、意見を交換することができる。(3、4、12回) ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、文章を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・課題に対して自ら考え、具体的な理由を示してその考えを説明することができる。(2～14回) ・レポートやプレゼンテーション資料など実践的な文章を書くことができる。(2～14回)						
成績評価方法	■レポートを含む授業内での文章作成などの成果物を評価(50%) :適用ルーブリック A1、D1,I1,I2,K2 (フィードバックの方法) 教員による添削 ■授業内に行う2回の確認テストによる成績(50%) :適用ルーブリックK1,I1 (フィードバックの方法) 教員によるテストの次週に行う正解説明						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	文章表現は、言葉を使って表現していきますので、書物、雑誌、新聞など日常生活の中で「読む」習慣を身につけましょう。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 自分の好きなスポーツを主題に置いて、自己紹介文を書いてみる。原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえる。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。 ④復習(120分) 自己紹介文について書いた文の推敲をする。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。	2	①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 自分の好きなスポーツを主題に置いて、自己紹介文を書いてみる。原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえる。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。 ④復習(120分) 自己紹介文について書いた文の推敲をする。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス(全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明) ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法。発表の方法。ペーパーの書き方などの講義式授業。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の関心のある書物を読んでくる。 ④復習(120分) 書物を読み、ポイントをノートに書いておく。						
2	①授業テーマ 文章の書き方の基礎的な事項を確認する。 ②授業概要 自分の好きなスポーツを主題に置いて、自己紹介文を書いてみる。原稿用紙の使い方、句読点、段落など基本的な事項をおさえる。(I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツについて書いてある書物や雑誌記事を読む。 ④復習(120分) 自己紹介文について書いた文の推敲をする。						

3	①授業テーマ 文章を完成させて提出し、添削を受けて推敲する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自分の好きなスポーツを主題にして、自己紹介文を書く。できたら提出する。(A2、I2、K1、K2) ③予習(120分) 自分の好きなスポーツ選手の自己紹介文を読む。 ④復習(120分) 添削を受けた文章を推敲し、書き直す。
4	①授業テーマ 推敲した文章を発表する。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自己紹介文を口頭発表する。(A2、I2、K1、K2) ③予習(120分) 発表のために文章の完成度をあげて、何度も繰り返し朗読する。その際はリズムなども含め文章の流れに留意する。 ④復習(120分) 発表後に流れが悪かったところを修正する。
5	①授業テーマ 発表した文章を提出する。次の課題に移る。 ②授業概要 前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、自己紹介文を600字～800字程度にし清書して提出する。主観的文章から客観的文章へ移るプロセスとして、「私のお勧めするスポーツ」を書くためのプランニングを行う。(I1、K1、K2) ③予習(120分) スポーツ選手が書いた書物や自己紹介や自分を語るテーマに関連した書物を読む。 ④復習(120分) 「私のお勧めするスポーツ」の下書きをする。
6	①授業テーマ 客観的な文章を書く試みを始める。 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「私のお勧めするスポーツ」と題した文章を書く。なぜ、勧めたいのか、その根拠を明確に整理しながら書き始める。(I1、K1、K2) ③予習(120分) スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようになされているのかノートに書いておく。 ④復習(120分) 「私のお勧めするスポーツ」の下書きをする。
7	①授業テーマ e-learning教材の学習習熟度確認テストおよび客観的な文章「私のお勧めするスポーツ」の文章を仕上げる。 ②授業概要 e-learning教材を用いた学習習熟度を見るテスト。終了後は客観的文章の書き方のスタイルで「私のお勧めするスポーツ」を書き、提出して添削を受ける。(A1、I1、K1、K2) ③予習(120分) スポーツに関連した書物や雑誌を読み、人に読んでもらうための工夫がどのようになされているのか、構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習(120分) 授業で習った点を踏まえて、自分の文章を練りなおす。
8	①授業テーマ e-learning教材の学習習熟度確認テストのフィードバック(講評)、および「言葉と語彙力」を学ぶ ②授業概要 「言葉と語彙力」のテキストを用いて、講義を受ける。 ③予習(120分) スポーツに関連した書物や雑誌を読み、使用したい語彙をピックアップしてノートに書く。

		④復習（120分） 授業で行ったテキストを復習し、自分のものとしておく。
9		①授業テーマ 「ことばと語彙力」を学ぶ ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「ことばと語彙力」のテキストを用いて学習を行う。（A2、D1、K1、K2） ③予習（120分） スポーツに関連した書物や雑誌を読み、ビジュアルの力に注目して「ことば」「語彙」で気づいた点をノートに書く。 ④復習（120分） 授業で行ったプリント資料を繰り返し見て、ノートに書く。
10		①授業テーマ 「ことばと語彙力」の習熟度テスト ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後「ことばと語彙力」の確認テスト（A2、D1、K1、K2） ③予習（120分） テストのため、学習プリントを復習する。 ④復習（120分） テストでできなかった部分を復習する。
11		①授業テーマ 確認テストのフィードバックおよび手紙の書き方 ②授業概要 e-learning教材で学習。その後、先週の確認テストの解説を受ける。そして、手紙文の書き方の講義をける。誰にあてて手紙文を書くか案を練る。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 受けたテストの振り返りを行っておく。 ④復習（120分） 手紙文の書き方のテキストを読み、型を習得する。
12		①授業テーマ 手紙の書き方の学習 ②授業概要 e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、自らが想定した人（恩師、監督やコーチなどお世話になった人）に向けて出す手紙文の形式を学び、書いてみる。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 手紙を書く上で、あて先を決め、どのような内容にするか考えておく。 ④復習（120分） 手紙文を自ら添削する
13		①授業テーマ 手紙文の添削を受けて清書する。 ②授業概要 e-learning教材で学習した内容の復習を行う。敬語の学習や時候の挨拶手紙文の型の説明を受けて、実際に便せん、封筒に正しく書き、仕上げる。敬語の学習を行う。完成させて提出。メール文の書き方の学習をする。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 手紙文の定型である時候の挨拶、敬語など予習をしておく ④復習（120分） 敬語や手紙の書き方の総復習を行う。
14		①授業テーマ e-learningの期末テスト、敬語と手紙文、先生にあてたメールの書き方のテスト ②授業概要 e-learning教材で学習した内容の期末テストおよび敬語と手紙文、先生にあてたメールの書き方の習熟度テストを行う。（A1、A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） これまで習ったことを総復習し、テストに備える。 ④復習（120分） テスト後を振り返り、不足分を勉強する。

	15	①授業テーマ テストのフィードバック（講評）、総復習 ②授業概要 前回行ったテストの講評。これまで学習した内容の振り返りをする。主観的文章と客観的文章の違い、相互批評力、口頭発表、レポートの書き方、表紙の付け方、手紙の書き方、封筒、便箋の使い方、メールの書き方、敬語表現発表してきたものを振り返り、学習ノートレポートを作成し提出。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習（120分） これまで書いてきたものを再点検する。 ④復習（120分） 主観的文章と客観的文章の違いをノートにまとめる。レポート作成の原則を復習し、確認する。
関連科目		文章表現2（RMGT/SSCS 1112）
教科書		適宜、授業で配布する。
参考書・参考URL		必要に応じて授業時に伝える。
連絡先・オフィスアワー		開講時お知らせします。
研究比率		

